

8月2日

中経 論壇

経営支援NPOクラブ監事

中谷 兼武



筆者は、ものづくりに携わって50年強になり、今も経営支援NPOクラブに所属して、ものづくり中小企業の支援をさせていただいている。私のものづくりは、VE (Value Engine)、QC活動などを手段として、「省資源・省エネ」と「原価低減」の達成が最大の目標であった。現在もそれらの経験が、中小企業のお手伝いに大変役立っている。

昨今の新聞紙上では、「地球温暖化と脱CO₂」「我が国た。

の少子高齢化と人口減少」の関係記事が必ず掲載され、産業構造に大きな変化をもたらすものとされている。また、ものづくりの海外移転による国内市場の縮小など、中小企業を取り巻く環境は厳しく、常に「どうする中小企業主」を、念頭に置きながら、NPO活動をしている昨今である。

先日、働き盛りの技術系の中小企業社長と面談したとき、世情に左右されることなく、冷静にフレキシブルにかつすティフブルに考え、経営方針を立てていることをうかがい、わが国のものづくりを支える中小企業に安堵を覚え

中小企業はものづくりの要

約50年前、ローマクラブが発表した「燃えつきる地球」20年で枯渇する石油などの記事が連日新聞紙上に掲載され、人々の危機感を煽りながら、大量生産・大量消費を戒めていたのを、昨日の地球温暖化が、自然エネルギーに思い出す。私は、ものづくりの原則、科学に基づき、真理、事実を自ら探し、風聞に左右されない重要性を学んできた。あれから50年後の現在、この小論の読者の方々は、当時の危機感をどのような感じにおられるだろうか。

世情に危機感を煽ることにより、新しい市場・産業が興る

約50年前、ローマクラブが発表した「燃えつきる地球」20年で枯渇する石油などの記事が連日新聞紙上に掲載され、人々の危機感を煽りながら、大量生産・大量消費を戒めていたのを、昨日の地球温暖化が、自然エネルギーに思い出す。私は、ものづくりの原則、科学に基づき、真理、事実を自ら探し、風聞に左右されない重要性を学んできた。あれから50年後の現在、この小論の読者の方々は、当時の危機感をどのような感じにおられるだろうか。

世情に危機感を煽ることにより、新しい市場・産業が興る

約50年前、ローマクラブが発表した「燃えつきる地球」20年で枯渇する石油などの記事が連日新聞紙上に掲載され、人々の危機感を煽りながら、大量生産・大量消費を戒めていたのを、昨日の地球温暖化が、自然エネルギーに思い出す。私は、ものづくりの原則、科学に基づき、真理、事実を自ら探し、風聞に左右されない重要性を学んできた。あれから50年後の現在、この小論の読者の方々は、当時の危機感をどのような感じにおられるだろうか。

世情に危機感を煽ることにより、新しい市場・産業が興る

わが国の中小企業の経営環境は、常に厳しいものであるが、先の社長のように中小企業主は、世情に惑わされることなく、社会の流れを自分の目で見据えて、科学的判断に基づき、フレキシブル、かつスティフブルな経営判断が求められる。脱CO₂や人口減少の課題に、技術革新と向上心で取り組んでほしい。中小企業は、わが国のものづくり産業を支える要なので、私は今後もNPO活動として、ものづくり企業の支援を続けたいと思っている。

社会の流れを自分の目で見据えろ